



このワークショップでは・・・

芹ヶ谷公園の成り立ちや公園を取り巻く環境について学び、「緑」をキーワードとした公園でやりたいことをみんなで考え、実践する活動を行っています！

樹木や竹林の適正な管理について学び、芹ヶ谷公園の竹を実際に切り出して、その竹で樋（とい）やお椀をつくりました。



切って



樋



お椀



運んで



▶竹林は景観形成など里山の重要な構成要素としての役割を担っています。

▶竹は成長が早く密に生えるため、そのまま放置すると他の植物の生育スペースや日光が奪われ、他の植物が育ちにくくなり、生物多様性が低下することがあります。

▶竹林の定期的な伐採や間引きを行うことで竹の密度を調整し、日光や栄養分が他の植物にも行き渡るようにすることで、他の植物も育ちやすい環境を作ります。

▶今回は、伐採した竹の活用として、流しそうめんキット（樋・お椀）を作りました！



割って

▶トンカチやカンナを使って節を取り除き、樋（とい）を作りました。

▶節の少し下をのこぎりで切り取り、お椀を作りました。

▶デモンストラーションとして糸を流し、流しそうめん体験をしました。

ワークショップは
今後も継続予定！
これまでの取り組みと
お知らせは市HP
をご覧ください♪

